

第6回バス共創プラットフォーム

日時：2025年（令和7年）8月1日（金）15：30～
場所：iti SETOUCHI tovio（福山市西町1丁目1-1）

次 第

1. 開 会

2. 説明内容

- （1）利用促進策の進め方について
- （2）利用者拡大実証事業について
- （3）その他

3. 今後の予定

4. 閉会

第6回 バス共創プラットフォーム資料

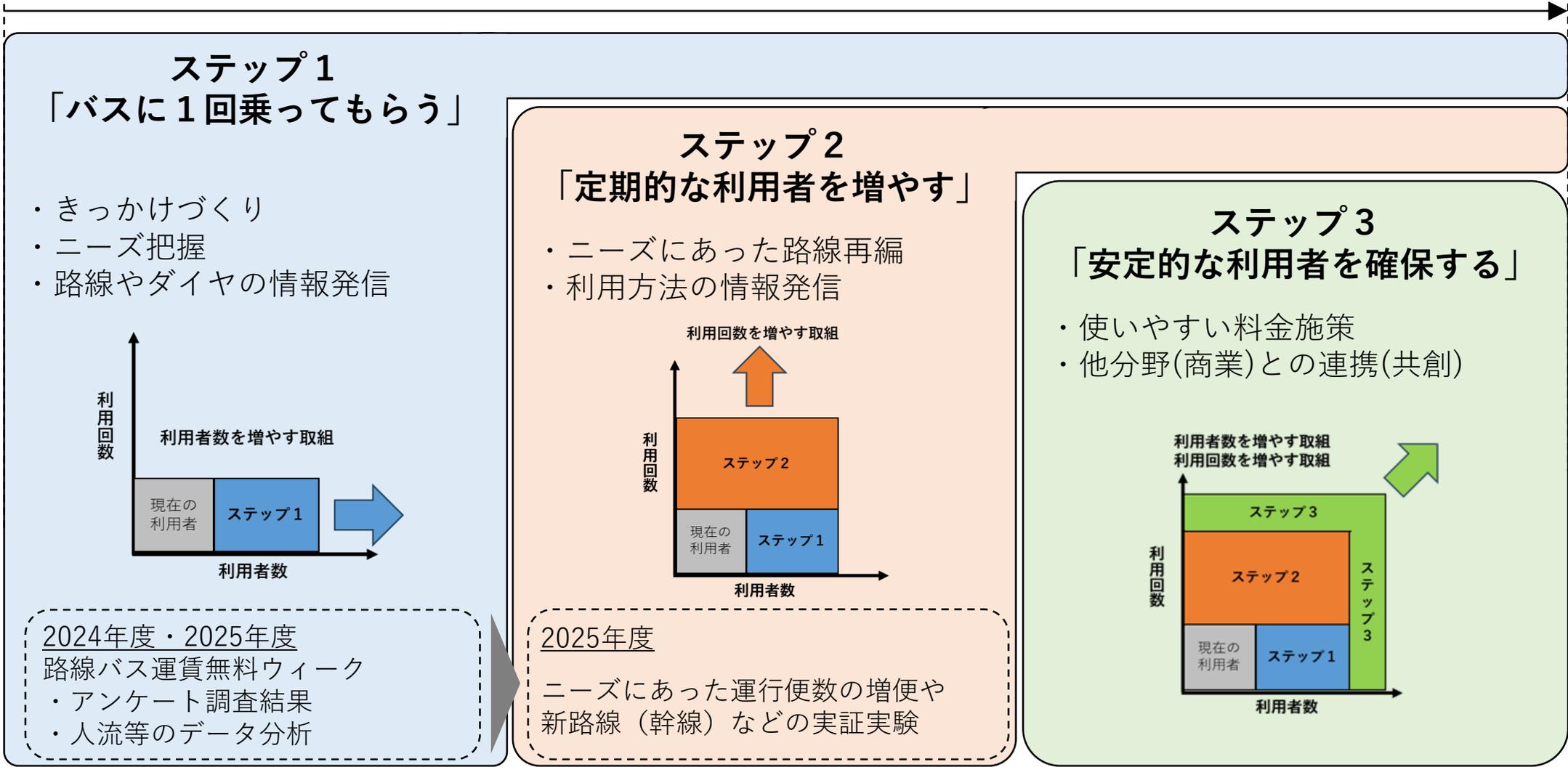
2025年8月1日

1 利用促進策の進め方について

福山・笠岡地域公共交通計画の対象期間(2024～2028年度)における路線バス利用促進策の進め方

2024年度

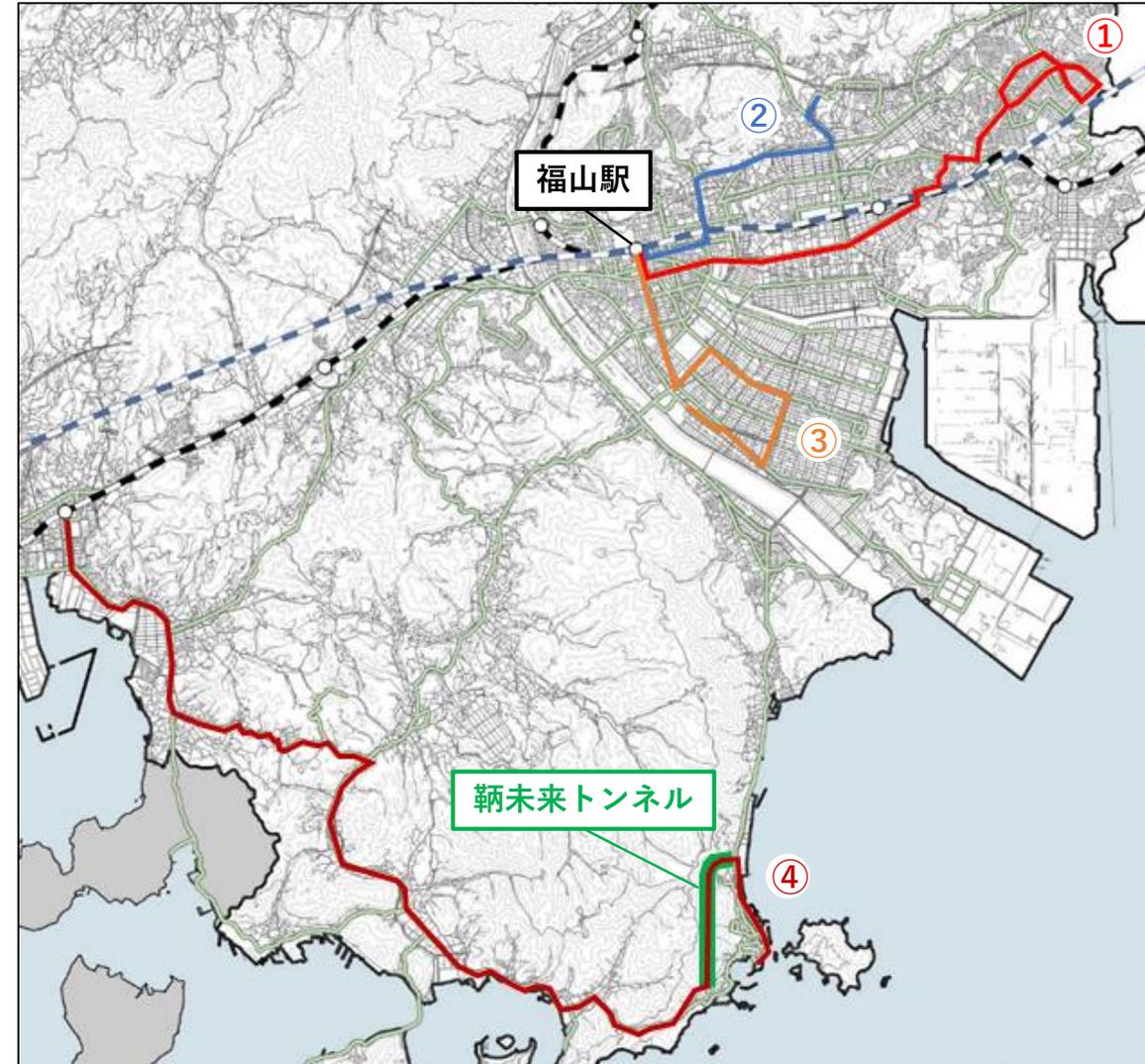
2028年度



2 利用者拡大実証事業について

■ ニーズにあった運行便数の増便や新路線（幹線）などの実証実験（利用者拡大実証事業）

期 間	2025年（令和7年）10月～12月（3ヶ月）
狙 い	利用者数の増加
実証実験①	大谷団地線の増便 内 容：平日の日中と夜間の増便 運行会社：株式会社中国バス
実証実験②	福山市民病院線の増便 内 容：平日の日中の増便 運行会社：株式会社井笠バスカンパニー
実証実験③	車庫線の増便 内 容：金曜日の夜間の増便 運行会社：株式会社中国バス
実証実験④	鞆未来トンネルの新路線 内 容：平日および休日の新路線 運行会社：鞆鉄道株式会社



① 大谷台線の増便（平日の昼間・夜間）

目的：増便で利便性を向上させることで、普段利用しない人の利用を促し、路線バスに慣れてもらう
モデル路線として実証運行し、結果を他路線へ展開していく

【期待する行動パターン】

No	目的	ターゲット	目的地	利用方法
A	通勤通学 ※1	沿線住民	福山駅	自宅周辺バス停⇔福山駅
B	買い物	沿線住民 沿線住民以外	ゆめタウン福山店 ハローズ伊勢丘店	自宅周辺バス停⇔新橋 自宅周辺バス停⇔伊勢丘三丁目 福山駅⇔新橋
C	通院	沿線住民	福山駅 (福山駅前の病院を想定) 伊勢丘三丁目 (伊勢丘三丁目の病院を想定)	自宅周辺バス停⇔福山駅 自宅周辺バス停⇔伊勢丘三丁目
D	イベント 参加	沿線住民	福山駅 (福山駅でのイベントを想定)	自宅周辺バス停⇔福山駅



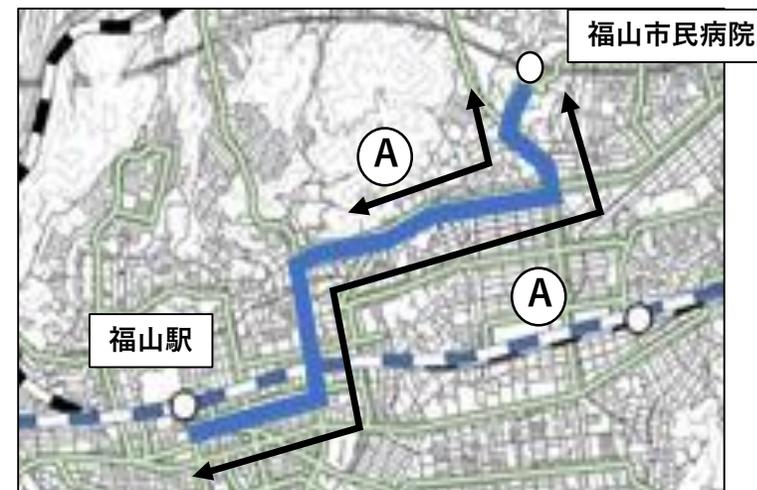
※1 夜間の増便を行うことで、通勤通学時の帰りの便が確保され、行きの利用も増えることを期待

② 福山市民病院線の増便（平日の昼間）

目的：福山市民病院の利用者ニーズに合った時間帯を増便することで、利便性の向上

【期待する行動パターン】

No	目的	ターゲット	目的地	利用方法
A	通院 お見舞い	沿線住民 沿線住民以外 自家用車の来院者	福山市民病院	自宅周辺バス停⇔福山市民病院 福山駅⇔福山市民病院

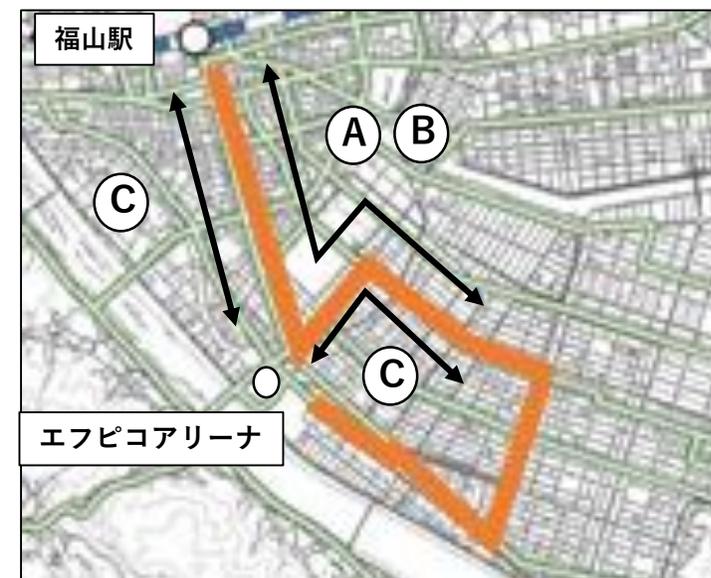


③ 車庫線の増便（金曜日の夜間）

目的：鉄道でカバーできないエリアの人の交通を確保し、路線バスへ慣れてもらう

【期待する行動パターン】

No	目的	ターゲット	目的地	利用方法
A	通勤通学※1	沿線住民	福山駅	自宅周辺バス停⇔福山駅
B	イベント参加	沿線住民	福山駅 (福山駅でのイベントを想定)	自宅周辺バス停⇔福山駅
C	イベント参加	沿線住民 沿線住民以外	エフピコアリーナ (エフピコアリーナでのイベントを想定)	自宅周辺バス停⇔ ファーマシィ本社前バス停 福山駅⇔ ファーマシィ本社前バス停



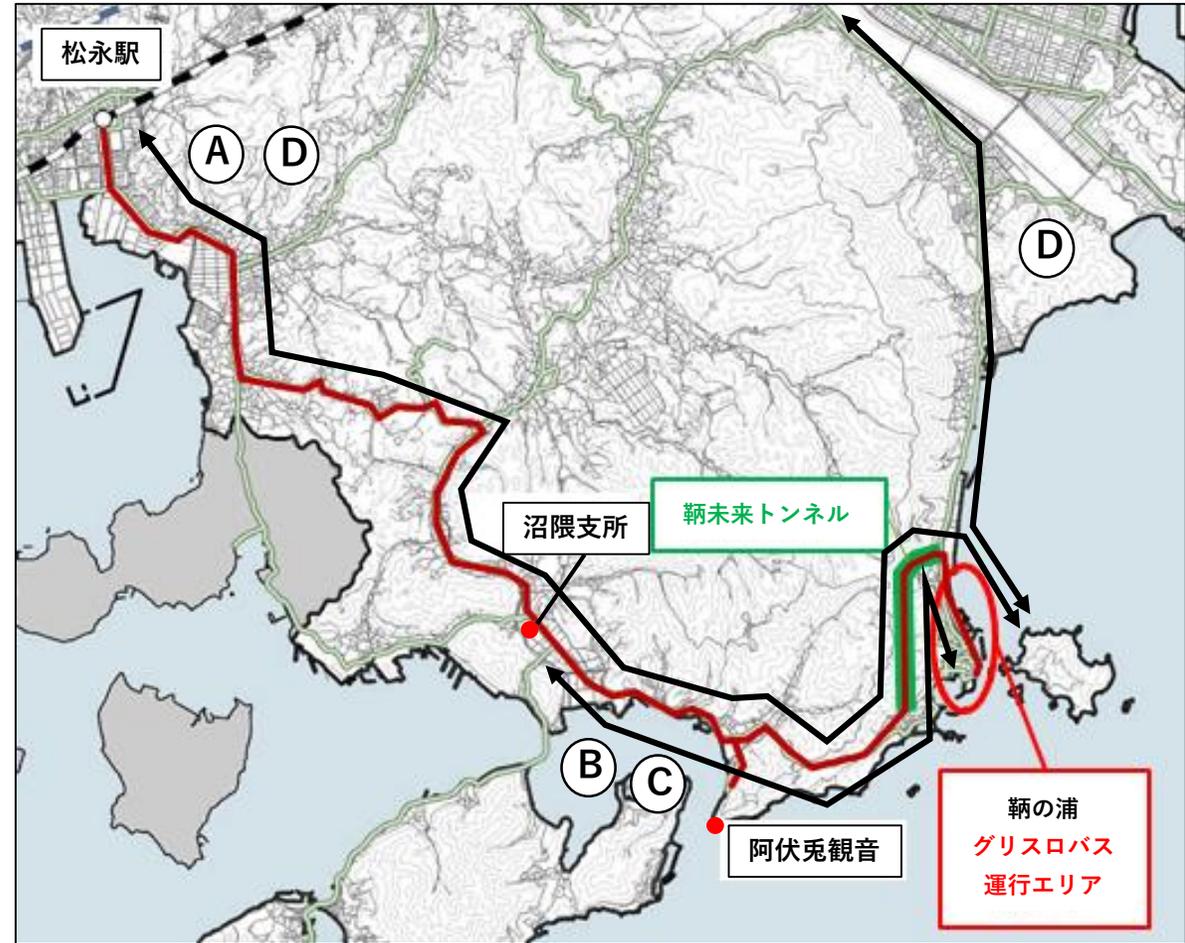
※1 夜間の増便を行うことで、通勤通学時の帰りの便が確保され、行きの利用も増えることを期待

④ 鞆未来トンネルの新路線（平日、休日の昼間）

目的：鞆未来トンネル（2025年3月30日開通）を通るバス路線の早期実装を目指す

【期待する行動パターン】

No	目的	ターゲット	目的地	利用方法
A	通勤通学	沿線住民	松永駅	自宅周辺バス停⇔松永駅
B	買い物	沿線住民	店舗 (沼隈支所付近の店舗を想定)	自宅周辺バス停⇔ 店舗周辺バス停
C	通院	沿線住民	病院 (沼隈支所付近の病院を想定)	自宅周辺バス停⇔ 病院周辺バス停
D	観光	観光客	鞆の浦 阿伏兔観音	福山駅→鞆の浦→ 阿伏兔観音→福山駅 松永駅→阿伏兔観音→ 鞆の浦→松永駅 鞆の浦⇔阿伏兔観音



■ 実証実験の狙い

実証実験	目的	ターゲット
大谷台線の増便 (平日の昼間、夜間の増便)	通勤通学 買い物 通院 イベント参加	沿線住民 沿線住民以外
福山市民病院線の増便 (平日の昼間の増便)	通院 お見舞い	沿線住民 沿線住民以外 自家用車の来院者
車庫線の増便 (金曜日の夜間の増便)	通勤通学 イベント参加	沿線住民 沿線住民以外
鞆未来トンネルの新路線 (平日、休日の昼間)	通勤通学 買い物 通院 観光	沿線住民 観光客 (福山駅経由) 観光客 (松永駅経由)

行動変容を導くには…

- どのように伝えるか
- どのように使ってもらえるよう働きかけるか
- 実際に使ってもらおう

- 既存利用者が分散するのではなく、**利用者数を増やしていくことが重要**
- 利用者数を増やすには、**行動変容を導く情報発信が重要**

■ 情報発信の手段

【運賃無料ウィーク時の情報発信手段】

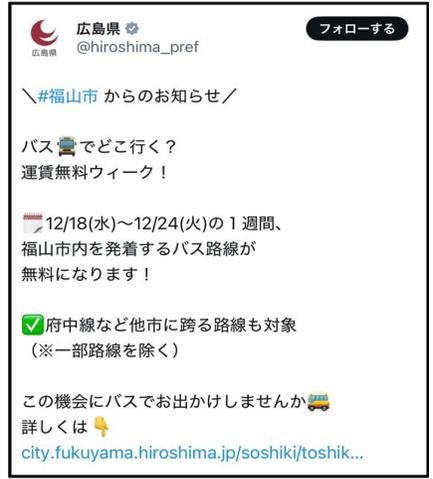
<p>チラシ</p>	<p>設置場所（一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福山駅前バス案内所及びバスのりば ・ バス停留所 ・ バス車内 ・ 福山市役所及び各支所 ・ 福山市民病院 ・ 福山市立大学 ・ 福山市社会福祉協議会 ・ 福山商工会議所 会報誌 <p>会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福山市連合民生・児童委員協議会 ・ 福山地区高等学校PTA連合会 ・ 福山市自治会連合会 常任委員会
<p>HP</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福山市都市交通課HP ・ バス会社HP
<p>SNS等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福山市公式SNS（LINE・X・Facebook・Instagram） ・ 広島県公式SNS（X・Facebook） ・ 公立、市立高校及びPTA役員へメール及びアプリ配信 ・ 福山商工会議所メールマガジン ・ 小中学校へメール配信 ・ ベスト運動会員へLINE、メール配信 ・ 広報ふくやま
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路情報掲示板 ・ メディア出演 (エフエムふくやま、ピースピースふくやま、テレビ及び新聞取材)



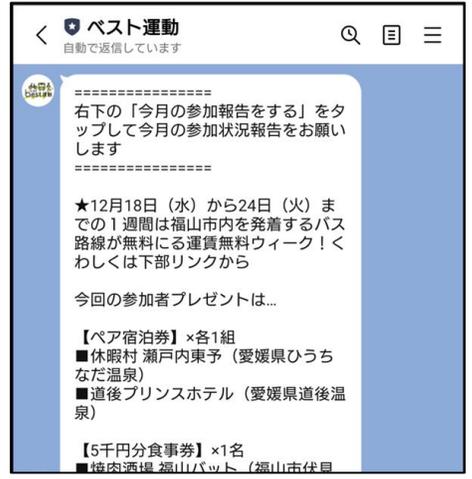
▲バス車内の様子



▲バス車内の様子



▲広島県公式X



▲ベスト運動会員LINE



▲道路情報掲示板

■ 関係団体の情報発信（案）

関係団体	チラシ設置、配布	会議等での周知	SNS等	その他
バス事業者	福山駅前バス案内所 福山駅前バスのりば、バス停留所 バス車内		バス事業者HP バス事業者SNS	メディア出演
一般社団法人 広島県タクシー協会東部支部	タクシー車内			
西日本旅客鉄道株式会社	福山駅構内			
福山市自治会連合会		福山市自治会連合会 常任委員会		
社会福祉法人 福山市社会福祉協議会	福山市社会福祉協議会	福山市連合民生・児童委員協議会		
福山商工会議所	福山商工会議所 会報誌		福山商工会議所メールマガジン	
連合広島東部地域協議会 福山地区連絡会				
広島県高等学校PTA連合会 福山地区連合会		福山地区高等学校PTA連合会	公立、市立高校へメール及びアプリ配信	
国土交通省中国地方整備局 福山河川国道事務所			ベスト運動会員へLINE	道路情報掲示板
広島県地域政策局 公共交通政策課			広島県公式SNS	
広島県東部建設事務所 工務第一課			ベスト運動会員へLINE	道路情報掲示板
福山市	福山市役所、各支所 福山市民病院 福山大学、福山市立大学	福山・笠岡地域公共交通活性化協議会	福山市都市交通課HP 福山市公式SNS 広報ふくやま 小中学校へメール配信 ベスト運動会員へLINE	メディア出演

※運賃無料ウィーク時の情報発信から作成（事務局把握分のみ）

■ 意見交換

- ・ 関係団体の情報発信（案）について
- ・ 利用してもらえる働きかけ方について

意見交換の視点

- ・ 関係団体の情報発信（案）の対応が可能かどうか（追加の内容があるか）
- ・ どのように働きかけることで実際に利用してもらえるか
例）バスに乗るための情報（乗り方、調べ方、バス停の位置情報など）を合わせて発信する
社会課題（渋滞緩和、環境配慮など）の解決につながることを合わせて発信する
実証実験前のイベントに参加して路線バスPRと周知活動を行う
松永駅から鞆の浦に行ける等の公共交通の選択肢が増える情報を発信する 等

■ 効果検証の視点と方法

	視点	内容	方法
利用者	だれが、どのような利用をしているか →利用者の傾向を把握して他路線へ展開	目的地（乗降場所）	ICOCAデータ
		利用時間帯	ICOCAデータ
		個人の利用回数	ICOCAデータ（ID）
		利用者数	バス事業者による計測
		他の交通モードからの転換	聞き取り調査
情報	どこで情報を取得して、なぜ利用したのか →今後の情報発信方法の検証	取得方法	アンケート調査
		利用するきっかけになった内容	アンケート調査
経済効果	バス利用が増えることによる波及効果 →経済効果の検証	施設の利用状況	聞き取り調査
		イベントの利用状況	聞き取り調査
		SNS、メディアの反響	インターネット

■ 意見交換

- ・ 効果検証の視点と方法について
- ・ 調査すべき内容について

意見交換の視点

- ・ 各団体に提供できるデータはあるか

①どのようなデータを、②どのように取得し、③どのような効果検証ができるか等

■ 路線バス100円ウィーク（案）

<p>目的</p>	<p>普段、バスを利用しない人の行動変容を促すには、路線バスに乗る「きっかけ」を継続してつくること が重要である。今年度は、より行動変容につなげるため料金徴収（100円）により、乗車から降車ま での一連の乗車体験ができるようにする。また、実施期間を2週間とすることでバス利用の定着を図る。</p>
<p>期間</p>	<p>2025年（令和7年）12月のうち2週間 ※運賃無料ウィーク：2024年12月18日（水）から24日（火）</p>
<p>対象</p>	<p>福山市内を発着するバス路線（一部路線を除く） ※運賃無料ウィークと同じ対象</p>
<p>内容</p>	<p>実施期間中、1乗車あたりの運賃を100円とする</p>
<p>利用方法</p>	<p>通常時の利用方法と同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICカードはカードリーダーにタッチ ・現金は整理券を取る
<p>検証方法</p>	<p>利用者数、ICカード（ICOCA）の乗降データから各路線の分析 ※ICカード利用者データは広島県、 現金利用者データはバス事業者から提供予定</p>



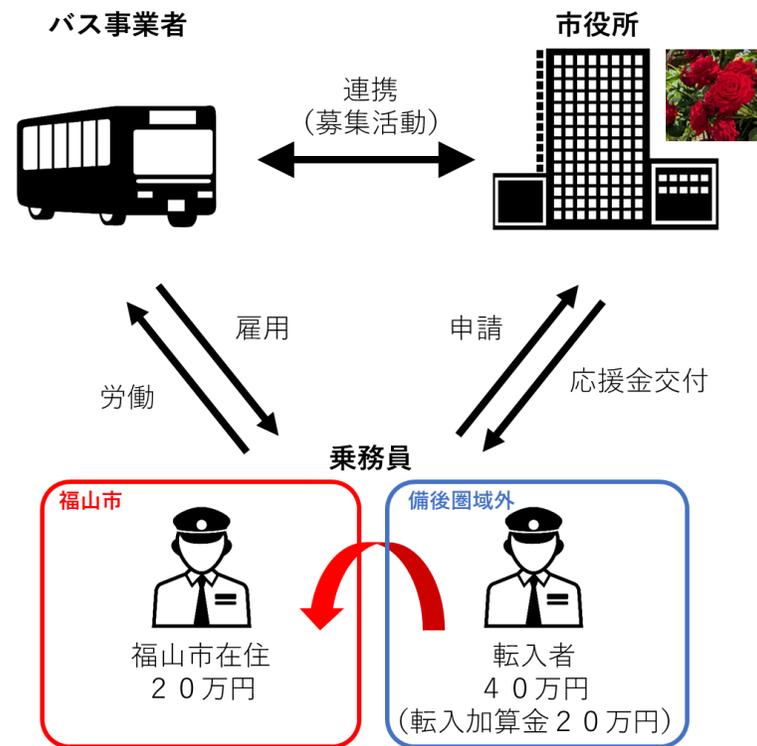
▲熊本市公共交通推進課HP

3 その他

■ 福山市路線バス乗務員就労応援金

路線バスの維持に向けてバス乗務員を確保するため、応援金の交付手続きを7月から開始

対象者	<p>次の要件をすべて満たす方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請するまでに福山市の住民基本台帳に登録がある方 ・2025年4月1日以降に乗務員（労働時間が週20時間以上の場合に限る）となった方 ・乗務員となった日から1年以上継続して勤務する意思がある方 ・過去にバス乗務員応援金の交付を受けていない方 ・市税等（市税及び国民健康保険税）を滞納していない方
対象バス会社	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社中国バス ・株式会社井笠バスカンパニー ・鞆鉄道株式会社 ・北振バス株式会社
応援金額	<p>1人当たり20万円 （乗務員になるため備後圏域外から福山市に転入された方はさらに20万円を加算）</p>
交付までの流れ	<ol style="list-style-type: none"> ①申請書等の提出（申請者） ②審査及び審査結果の通知（福山市） ③請求書の提出（申請者） ④応援金の交付（福山市） <p>※詳細は福山市都市交通課HP参照</p> <div style="text-align: right;">  <p>▲福山市都市交通課HP</p> </div>



▲福山市路線バス乗務員就労応援金イメージ

■ 地方バス路線運行維持対策事業費補助

バス事業者が自主的に利用促進に取り組むことで経営改善及び市民サービス向上につながる新たな補助制度を創設

今後の予定

